

# 星屑

No.325  
April. '02

## 20周年記念行事 概要決定！！

### ★ スターウィーク城南

7月19日（金）～27日（土）  
詳細は後日お知らせします

### ★ 20周年記念式典

7月20日（土）午後  
濱部潤一氏講演決定！

### ★ 五嶋みどりコンサート

7月27日（土）午後

熊本県民天文台

# スタートイーク城南 天文台20周年記念行事

あと133日

20周年の記念行事がだんだん固まってきました。

先月号のお知らせから変更になったところもあります。今回は主に全体の行事とその日程について連絡します。

7月19日から28日までを「スタートイーク城南」と銘打ってこの間、様々な行事を行うことになりました。その前に、平成14年度総会を5月に開きます。いつもの総会の後に、「スタートイーク城南」準備会もひらきます。

5月12日（日）午後 平成14年度熊本県民天文台総会（火の君文化センター）

## スタートイーク城南日程

※時間等は変更になるかもしれません

7月初旬（七夕） KAGAYA氏の絵のプリント、展示開始

7月19日（金） スタートイーク城南始まる  
(28日まで、連続一般公開)

7月20日（土、「海の日」）、  
記念式典（午後1時半）  
記念講演会、講師：渡部 潤一 氏（午後3時から）  
天文台で交流パーティー（午後6時から）  
一般公開（午後8時から）

7月21日（日）  
「子供フェスティバル」（午後1時から）  
電子紙芝居上演、巨大な七夕飾りをつくる

7月23日（火）、24日（水） 城南町 夏祭り  
写真展示、望遠鏡で観望会、電子紙芝居（23日）など

7月26日（金）（前夜祭？）  
7月27日（土）「五嶋みどり リサイタル」

売店出店

7月28日（日） 連続一般公開の最終日

※）行事のほとんどは、城南町・火の君文化センターで行います。  
一般公開はもちろん天文台。

## ・「スターウィーク城南」

ちょうど子供達が夏休みにはいる週から「スターウィーク城南」が始まります。この期間は、月曜日以外は毎日一般公開をします。ちょうど、県民天文台が最初のころやっていたものと同じスタイルですね。

一方、火の君総合文化センターでは、7月のはじめからロビーにKAGAYAさんのイラストや天文台20年の歩みを紹介する写真などを展示します。また、文化センターボランティアの方から、大きな七夕飾りを飾ろうというアイデアもでています。

## ・最初のイベント、記念式典＆記念講演

最初の土曜日20日は、文化センターで記念式典と記念講演を行います。式典では小惑星「JONAN(城南)」命名報告などのほか、あつと驚くことがある(かも?)。

次に、国立天文台で彗星の研究と天文の一般普及活動を精力的にされている、渡部潤一先生の講演があります。演目は未定ですが、きっとおもしろい話が聞けることでしょう。この後、集まっていた県内外の天文関係者の方と天文台で「交流パーティ」が開かれます。また、いつものようにバーベキュー大会になるのでは?という危惧もありますが、そこは一工夫も二工夫もする予定です。

## ・火の君の里 城南町夏祭り

例年隈庄商店街付近で開かれている夏祭りに、天文台からも参加します。

23日・24日夜の予定で、いまのところ出し物は写真展示、望遠鏡で観望会、電子紙芝居などです。詳細はこれから町の夏まつり実行委員会と詰めていきます。いつもは「来もらっている」天文台ですが、こんどは地元にうってでます。町民の方にアピールできるいい機会になりそうです。もちろんこの日も天文台で一般公開をやっていますので、お手伝いが一番必要となります。

23日夜には、浜戸川沿いで花火大会も開催されます。

## ・最期のビッグイベント「五嶋みどり リサイタル」

27日(土)午後3時から文化センター文化ホールで開演です。天文台から売店を出店して来場していただいたお客様に様々な星グッズを「おみやげ」として楽しんでいただきます。

## ・スタッフから

今回の記念事業の内容や日程について、どんなにしたらよいだろうかと、いろんな案を練っては、ああでもないこうでもないと議論しながら今回の日程に決まりました。

前半の行事は天文関係者との交流、後半は地元・城南町との交流とバランスがとれたものになったのではと思います。最期に五嶋みどりさん、KAGAYAさんのホームページをご紹介します。

- ・「五嶋みどり公式ホームページ」 <http://www.gotomidori.com/>
- ・「KAGAYAギャラリー」(加賀谷 穂) <http://www.kagayastudio.com/>

## 星の停車場(16) うみへび座

土山由紀子

日没が遅く、空も霞んだ春は、星見と縁遠くなる季節です。今月ご紹介するのは4月25日20時に子午線を通過するうみへび座ですが、20時といつたら未だ明るいですよね。星図では熊本の4月26日21時の空を再現してみました。実際は薄明が残っていて、星の数ももっと少ないと思います。この星座の星たち全てを条件良く眺めるには、2月下旬~3月上旬の真夜中があ勧め。20時の子午線を通過する頃が旬というのは、4月の星座、特に長々と続くうみへび座には当てはまらないようです。

長さで有名なうみへび座。東端はごいぬ座・いつかくじゅう座、西端はてんびん座に接しています。明るい星は少ないものの、角度にして100度以上、長さも面積も全天一、成立は紀元前でトレミー48星座の一つ、非常に由緒正しい星座です。

その長く曲がりくねった姿はエジプトでナイル川に見立てられ、キリスト教文化の中ではヨルダン川と見られたこともあります。といえば、もう一つの長い星座、エリダヌス座は川ですね。このほか、うみへび座の長々とした姿は竜に見られることもあり、イタリアでは、アルゴ船の旅の目的だったコルキスのアイエーテス王の金の羊毛を守っていた竜を、うみへび座と見ていました。うみへび座にまつわる伝説は、北天のりゅう座と混同されていることもあるようです。

ところで、空には3匹の蛇が住んでいますね。うみへび座、へび座、南天のみずへび座。へび座はへびつかい座と共に描かれる陸棲の蛇ですが、うみへび座とみずへび座は名前から水棲の蛇とわかります。海蛇と水蛇では違いがわかりにくいので、学名を見てみると、うみへび座はHydra（女性名詞）、みずへび座はHydrus（男性名詞）。ヒドラ(Hydra)は実在する海蛇や水蛇ではなく、ギリシア神話に登場する怪蛇の固有名詞です。

ヒドラは、ヘルクレスが12の仕事の一つとして退治した9つの頭を持った水蛇で、アルゴス地方のレルニアの谷にあるアミモーネの沼地に住んでいました。

アミモーネの沼地は人々の飲み水でしたが、ヒドラが毒水にしてしまいます。ヘルクレスは、ネメアの森に住むライオン（しし座）を退治した後、ここに遭わされました。ところがヒドラは、首を切り落としても新しい首が生えてくる怪物。1つの首跡から2つの首が生えたという説もあります。困ったヘルクレスは、甥の助言で首を切った跡をたいまつで焼いて新しい首が生えるのを防ぎ、9つの首の真ん中にある不死身の首を大岩の下に埋めて始末しました。この戦いの最中、ヘルクレスを憎む女神ヘラがヒドラの加勢をするため1匹の大蟹を遣わしましたが、蟹はヘルクレスの足に噛みつくなり踏みつぶされ、かに座となってうみへび座と共に春の夜空に輝いています。

夜明けが早まっていく春、うみへび座が朝の光の中で少しずつ消えゆく様子はヘルクレスとの長い闘いを表しており、ヘルクレスがヒドラの首を一つ切り落とすたび、ヒドラの星が暁の光で少しずつ消えていくのだそうです。

昔の星座絵ではヒドラの頭の前に木が描かれていることがあります。これについても、いくつかの伝説が伝わっています。



1つは、世界の西の果てのヘスペリデスの園にあった金のリンゴが生る木と、これを守ったラドンの姿で、ラドンがうみへび座であるというもの。リンゴの木は、大地の女神ガイアがゼウスとヘラの結婚祝いに贈った木で、ヘスペリデスの乙女たちがラドンの力を借りて守っていました。現在ラドンはりゆう座とされていますが、こうしてうみへび座として語られたこと也有ったのです。ちなみに西の果てに住むヘスペリデスたちは、古代ギリシア・ローマでは宵の明星の名でもありました。

別の伝説では、ローマ詩人才ウイディウスの『転身物語』、チョーサーの『善女物語』及びシェークスピアの『夏の夜の夢』などで語られる、バビロンを舞台にしたピュラモスとティスベの悲恋物語に出てくる桑の木。この木の下で駆け落ちした恋人たちは悲劇に見舞われ死んでしまい、桑の木は彼らの死を悼むために黒い実をつけるのだといいます。

古来から、ヒドラは背に乗ったコップ座・からす座と共に語られていましたが、これらのお話はコップ座又はからす座の項へ譲ることにして、逸話が尽きない堂々たるうみへび座を形作る星たちを見てみましょう。

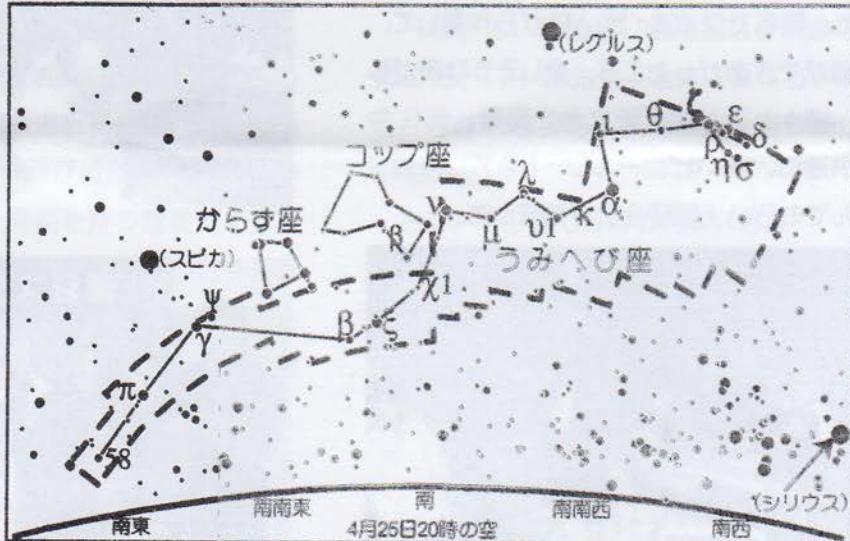
まず、唯一正式な固有名を持つ $\alpha$ 星、2.0等の赤い星アルファルド。“孤独なもの”という意味で、語源は“蛇の孤独な星”という意味のアラビア語、アル・ファルド・アル・シユジヤーです。文字通りボツンと孤独に輝いている姿が印象的です。

別名コル・ヒドラエは“ヒドラの心臓”という意味のラテン語で、命名者はデンマークの天文学者ティコ・ブラーエ(1546-1601)。ケプラーの師だったティコは、超新星ティコの星、火星の精密な観測、かみのけ座の設定者としても有名ですね。

このほか $\alpha$ 星には“蛇の背骨”“蛇の首”などの呼び名がありました。これらの名前は現在の天文学では使われていません。中国では“鳥”又は“朱鳥”，時には“火”と呼び、この星が宵空に見える頃を春の盛りと考えていました。

うみへび座で一般的に用いられる固有名を持っているのは $\alpha$ 星だけですが、中国では $\beta$ (4.3等)と $\xi$ (3.5等)を“緑の丘”， $\gamma$ (3.9等)を“安らかな星”という意味の名前で呼んでいました。また、 $\beta$ (4.3等)・ $\kappa$ (5.1等)・コップ座 $\beta$ (4.5等)はアラビア語で“肋骨”という意味のアル・

シャラシフ、  
 $\sigma$ (4.6等)は、  
ウルーベグ  
星表(1437  
年)で“蛇  
の鼻”とい  
う意味のア  
ル・ミンハ  
ル・アル・  
シユジヤー  
と呼ばれて  
いました。



冬の体験学習シーズン、杉上小に続いて

## 当尾小(80名)・豊田小(30名)も来台！

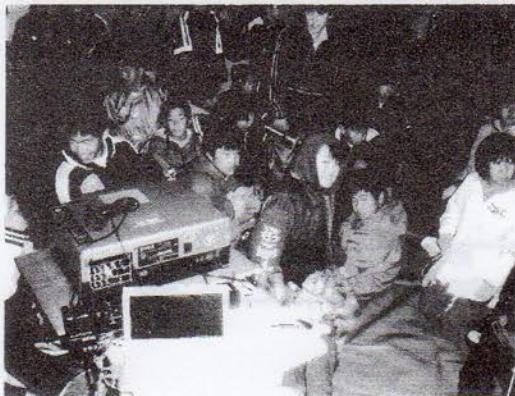
久々に屋外用組み立てスクリーンも登場し、電子紙芝居での解説に質問続出！

2月23日(土)、当尾小学校が来台。

久しぶりに大人数での観望会。応援を天文台のメーリングリストでお願いしたところ、数名の方が登録してくださり、かなり力を入れて取り組むことになった。

ところが、当日は昼過ぎから雲が広がり始めるというあいにくのお天気予報。残念なことに、この予報がぴったり当たってしまったので、準備には困った。

何しろ80名もの人数、天文台のミーティングルームでは全く収容不能。昔作っておいた屋外用の組み立て式スクリーンを倉庫から運び出し、天文台の壁に立てかけ、応急の大スクリーンを作る。プロジェクターを運び出し、パソコンをセットして投影テスト。天文台の玄関前広場が、野外学習会場に変身した。数名でワイワイ言いながら作業して、準備ができあがったころ、楽しそうな声がして、続々と子供達が天文台に到着。先生や子供達に、青いビニールシートを広げて座り込んでもらい「観望会」が始まった。



みんながそろったところで、「電子紙芝居」での解説が始まった。今日の出し物は、

- 1)「北斗七星、鳥の狩人たち」
- 2)星の動き「オリオン座」
- 3)月の形(見え方)と地形
- 4)月の誕生(月はどうやってできたか)

頭の上は厚い雲だが、1時間ほど解説をして、質疑応答に移った。期待した天体観望ができず退屈したのでは?という心配を吹き飛ばして、子供達からは次々と質問が飛び出し、予定の時間を超過する楽しい「観望会」だった。





3月8日（金）、豊田小 6年生が来台。

当初、1月か2月にと予定されていたのだが、インフルエンザが流行したため延期になってしまったらしい。卒業を目前に控え、みんなで夜の大集合とあって子供達のテンションが高い。「これはー、ちょっと大変かも?」と不安が一瞬頭をよぎる。

だが、今日も天文台メーリングリストで募集した応援部隊がしっかりと後ろに控えているし、幸いお天気もばっちり。かなり寒くなってきたので、屋外での電子紙芝居を取りやめ、ミーティングルームに会場をセットした。応援の学生さん達と何度も今夜の運営手順について打ち合わせした。

なぜなら、今夜は池谷-チャン彗星が西の空に見えている。（軌道計算だけでなく）観測によって実際に周回が確認された彗星の中では最大の公転周期を持つ彗星だそうですから、こんなチャンスに巡り会った幸運をぜひ分かち合いたいと考え、J氏の協力を得て、冷却CCDでの観測（撮影）と子供達の観望とを、急遽組み込むことにしたのだ。

今夜は綿密な打ち合わせに従って、ミーティングルームから観測室へ（池谷）-チャン彗星観望）、観測室からミーティングルームへ、星の位置のはかり方を解説したあと、公園での位置測定と星座の観察、さらに、

観測室での土星やオリオン大星雲の観望、ミーティングルームでの解説や質疑、最後にもう一度公園での星の位置測定と、かなりみっちりと行った。

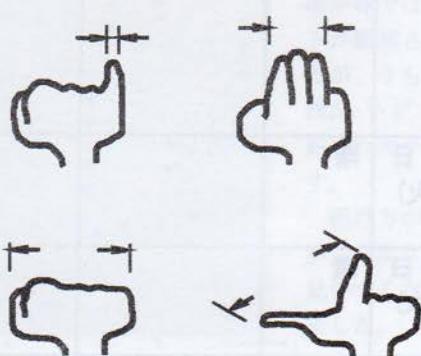


今夜も、スタッフの協力のおかげで、「星はなぜ浮かんでいるのか?」、「宇宙人はいるか?」などたくさんの質問が飛び出し、かなりの盛り上がりの中、大きな収穫を得て、無事に終了できた。

子供達の矢面に立ち、最新の宇宙論をわかりやすく（しかし、かなり汗をかきながら?）解説してくれた熊大物理（院生）の徳尾君には特に感謝の拍手を送りたい。

（なぜか、この夜、徳尾君は子供達の人気の的、「トトロ先生」とか「よっちゃん」とか呼ばれながら、質問の嵐を浴び続けていたのだ!）

さて、下の図で分かる角度は何度？



## 2月の県民天文台 ~運営日誌より~

開台率 10日/15日=66.7% 一般来台者数 166名 会員来台 48名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
1日 (金)	はれ	4名(中学生)	長谷、松本、立川、山田	木星、土星、M42 感動した中学生がかわいい。山田先生のギャグに類似したおやじギャグを連発する中学生たち。山田先生の教え子そのものだった。(立川)
3日 (日)	晴れ	1名	艶島、松本、高田	木星、土星、M1、シリウス、M87、M35、M67、カノープス 「星座」(仙台) 特大号 (高田) C/2002 C1 Ikeya-Zhang (小林J)
8日 (金)	曇/雨	0名	松本	天文台に着くなりポツリポツリと雨。電話問い合わせ2件有り。本日天候悪い為、土、日に来台下さいと返答(松本)
9日 (土)	晴/曇	杉上小5年生 +PTA(40名) +2名	艶島、高田、中島、上塚、鹿釜	下で電子かみしばい。上で冬の大三角、土星、木星、ベテルギウス。後でくもりになる(鹿釜) 西嶋、松本、熊大学生1名
10日 (土)	はれ くもり	なし	艶島、松本、小林マ	寒いせいかお客様は0 オリンピックもあってるし… (小林マ)
16日 (土)	晴	9名	中島、徳尾、鹿釜	土星、木星、リゲル、ベテルギウス、シリウス(中島) Talk About • 20周年行事の件 • 総会の件 ↑詳しくはホームページを。高田さんよろしく!! 艶島、小林J、小林M、高田、長谷、中島、徳尾、鹿釜、山田、松本
17日 (日)	ときどき晴	ナシ	Tsu	夕方から晴れ間が出ただけれど、お客様はゼロだった。21時まで居て帰ります。J氏からTel、「20周年には、藤井旭さんなど、開所の時に応援してくださった方々との交流会が必要」だという意見でした(Tsu)
19日 (火)	晴			アルデバラン、M1、M101、スピカ、M104 写真撮影 熊大天文部：徳尾、御園生、林(徳尾)
20日 (水)	晴			木星、土星、月 デジカメで撮影 途中、お客様が来られましたが「金・土・日」に来ていただくようお願いして、帰つ

				ていただきました。(Tsu) 月、土星、木星、シリウス、M42、スピカ、 M104、ベガ、M57 写真撮影 熊天文部：徳尾、鹿釜、平井、川島、丸本（徳尾）
22日 (金)	晴	0名	長谷、松本	星は見えているのですが…来台者無し。最近は寒いからか来台者少ないので寂しい。明日、晴れることを祈りつつ… (長谷)
23日 (土)	くもり	松橋、当尾小 80名(子供) 30名(大人)	中島、松本、 中尾の、徳 尾、艶島	松橋、当尾小学校 5:10に当尾小出発(約6km) P.M. 7:00~8:00(天文台) その後ラーメン食べて帰る。 電子紙芝居 • 北斗七星(星の狩人達) • 月の地形 • 月の誕生 • オリオン座の動き、など (反応) ① 流れ星って何ですか? ② 何で地球や月ができた時、いん石がたくさんあったのか、など ※スクリーン(以前作ったコンパネパネル3枚)を用意して外でやりました。雨の後だったのでシートをしいて座って見てもらいました。電球をつけてみました(中島)
24日 (日)	快晴	ナシ	Tsu、小林M	昼間から快晴。みんな遊びに行ってつかれたのか、夜、天文台へのお客様はゼロでした。デジカメで木星と4大衛星を撮影。シリウスがまたたく強い風だったので拡大撮影はせず。ついでにシリウスも撮影しました(Tsu)

## B5のたわごと

植物の新芽が、一斉に芽吹いてきました。もうすぐ、は～るですねーって、以前こういう歌がありましたね。古～、歳がバレバレです。春と言えば、もうすぐ桜が咲きますね。桜と言えばお花見。お花見と言えば・・・宴会じゃあ、ありませんか。年に一回の大行事ですから、盛大に行いたいのですが・・・。久々に宴会ネタ登場でした。

☆H13年度分の会費納入をお願いします。正会員8000円 友の会会員5000円☆

## ☆4月の天文現象&行事☆

- 4日（木） いて座λ星の星食（09：31福岡潜入時刻）
- 5日（金） 下弦（00：29）  
清明（せいめい…春の日射し強く、全てのものが清く溌剌としてくる時期）
- 7日（日） 水星が外合（-2.2等 視直径05.0")
- 8日（月） やまねこ座Rが極大（周期378日 7.2～14.3等）
- 13日（土） 新月（04：21） トークアバウト（天文台にて 20：00～）
- 17日（水） 春の土用 小惑星ベスタ食（稚内でのみ）
- 20日（土） 上弦（21：48） 穀雨（こくう… 春の雨が穀物を潤す時期）
- 21日（日） てんびん座RSが極大（周期218日 7.0～13.0等）
- 22日（月） こと座流星群が極大
- 25日（木） さそり座RRが極大（周期281日 5.0～12.4等）
- 26日（金） おとめ座流星群が極大のころ
- 27日（土） 満月（12：00）

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2002年4月号 通巻325号

発行所 熊本県民天文台事務局 ☎ 861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>